

## 持続可能社会の実現に向けて SDGsに取り組もう

### 協同組合ハイコープ 山梨地区本部

SDGs（エスディーゼーズ）は、2015年の国連サミットで採択された2030年までに国際社会が達成すべき持続可能な開発目標で、「誰ひとり取り残さない」社会の実現を目指して、17のゴールと169のターゲットで構成されている。

協同組合ハイコープ山梨地区本部（太田丈三本部長 19社）は、10月9日に小瀬スポーツ公園の会議室で「SDGsを企業で取り組もう」をテーマに研修会を開催し、組合員企業の役職員22名が出席、長野県の本部から宮澤理事長も参加した。

研修会は、SDGsを実践する子どもたちを育てる活動をしているNPO法人八ヶ岳SDGsスクールの丸茂哲雄副理事長による講演、リコージャパン(株)

の講師によるグループワークの2部構成で行われた。

講演ではSDGsを構成する17の持続可能な開発目標について解りやすく説明され、教育現場での実践事例が紹介された。丸茂氏は「まずは興味のある項目から始め、自身の生活や仕事と17の目標とを関連付けてみる。周りや情報共有して取り組みを発信してみましよう。」と今後の機運の盛り上げに期待を込めた。

グループワークでは17の目標の中から各グループが任意で選んだ項目について意見交換を行い、参加者からは自社の仕事の中でどう取り組むかについての発言があり、感心の高さがうかがえた。

太田本部長は「世界で取り組むべきSDGsは山梨県の総合計画の中にも示されているが、事業者には浸透していないと感じる。環境、社会、経済の持続を前提に企業の継続発展があるので、社会課題に対応している企業というイメージ向上だけではなく、SDGsを新たな事業の創出や企業の存続に活かす必要がある。今後も組合として組合員企業の取り組みを推進し積極的に発信していきたい。」と今後の展望を述べた。



参加した面々